

図書紹介

写真で見る有害生物防除事典

著者：谷川 力・富岡康浩・池尻幸雄・白井英男・吉浪 誠（イカリ消毒株式会社）
発行：株式会社オーム社 / 〒101-8460 東京都千代田区神田錦町 3-1 /
電話 03-3233-0641（代表） / A5判 / 197頁 / 価格 2,200円（税別） /
2007年3月20日発行

この度、ネズミ博士の異名をもつ谷川 力博士の編集により、イカリ消毒株式会社の総力をあげて一冊の事典が完成した。その名も「写真で見る有害生物防除事典」である。

近年、ハエや蚊の問題に変わり、ダニの大発生やスズメバチの問題、さらにクマネズミの異常繁殖やカラスの公害は、大きな社会問題として度々報道されている。これらの問題に対してはどこの自治体でもその対応に苦慮しているものと思われる。また、ゴキブリに代表される害虫は、昔から個人の家庭や建築物での衛生管理において悩ましい存在であった。

ここに紹介する本書は、題名の通り、各頁に記載されている写真の多さが特徴である。また、文章も簡単明瞭で一般的にもとてもわかりやすい記述になっている。

本書の構成は、

- 第1章 有害生物による被害
- 第2章 害虫編
- 第3章 害獣編
- 第4章 微生物編
- 第5章 防除機器と薬剤

から成る。

第1章では、害虫、害獣および微生物がヒトに与える被害について概説している。第2章では、ゴキブリ類、ハエ類、カ類、ユスリカ類、小バエ類、その他のハエ類、衣類害虫、シミ類、食品害虫、カビから発生する虫、アリ類、シロアリ類、木材害虫、カメムシ類、吸血・刺咬害虫、ダニ類、徘徊する不快な虫、クモ類、皮膚炎を起こす有害な虫、植栽害虫、ハチ類およびナメクジ類と多くの害虫について、主な種類とその生態、さらに防除法を記載している。第3章では、ネズミを中心に、カラスやヘビなどの害鳥・害獣について、種類や生態、また防除法に関しても豊富な写真でわかりやすく解説している。第4章では、細菌、カビ（真菌）、原生動物およびウイルスを対象に、それぞれの微生物がヒトに及ぼす影響について記述するとともに、感染症に対する認識と消毒の概念についてまとめている。さらに、第5章では、第4章までに各論的に解説してきた有害生物に対する対策に用いる機器と薬剤について紹介している。すなわち、害虫対策では殺虫剤と防除機材の特性、ネズミ対策では捕獲トラップと殺鼠剤・忌避剤、さらに微生物対策では主な殺菌剤について、その特性を詳述している。

先日、ある新聞にネズミが高齢者に大きな被害をもたらしているというショッキングな特集記事が掲載されていた。もちろんここでコメントしていたのは、ネズミに関してはわが国の第一人者であり、本書の編著者である谷川博士である。また、病院においてゴキブリなどの害虫が微生物を運んでいるという報告もある。このように、ネズミに限らず、昆虫類も建築物の衛生管理の場においては重要な対象である。

本書はネズミを中心に谷川博士らのグループが長年経験してきた現場での知識

の集大成である。頭でっかちな学者が机上の空論をまとめた物ではなく、最も現場をよくご存じの執筆陣による一冊である。したがって、様々な現場で日々、有害生物と格闘されている方々にとっては大変力強い味方になると思われる。また、一般の方には写真を見ているだけでも大変興味深い事典であろう。

(麻布大学 古畑勝則)